

タイトル:平成 27(2015)年度 教育セミナー(第 11 回)

日時:平成 27 年 9 月 21 日(月・祝)～24 日(木)

場所:東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究 3 階 マルチメディア会議室(304)

『アラブの春』以降のバハレーンにおける、宗派对立と政治運動」

川口 航史 (東京外国語大学大学院総合国際学研究所)

私が、「シルバーウィーク」と呼ばれる連休の存在を知ったのは、セミナーへの参加を決めた数か月後のことでした。長期休暇に溺れる 9 月にまさか連休があろうとはつゆ知らず、おや、と思いセミナーの日程を確認するとまさにピタリと重なっていました。そんなわけで、私は初秋の風が心地よい行楽日和の連休に、この中東☆イスラーム教育セミナーで 4 日間に亘ってしっかりと勉強させていただくこととなったのですが、この 4 日間はおそらく、どんな行楽にも代えがたい貴重で充実した経験だったと感じております。

セミナーでは、様々な分野の専門でご活躍の先生方からの、大変貴重な講義を受けることができました。自らの専門に大卒では遠からず、手法や分野は近からざる先生方のお話は、学ばせていただけることが溢れており、目を輝かせながらお話に聞き入ってしまいました。さらには、研究者としての心持ちや、ご自身の学生時代の話など、愉快や驚きを与えていただきながらも、深く学ばせていただくことができました。

また、受講生の発表は、同じ大学院生として似たような分野を学ぶ人たちの研究発表を聞くというまたとない機会であり、大変多くの刺激を受けました。研究手法も、内容も、思索の深さもそれぞれに目を見張るものが代わる代わる出てきては、それに対して議論もまた高いレベルで行われるもので、目が回る思いをしながらも、まさに毎秒毎分新しい刺激を受けることができたと感じました。

私自身、3 日目に発表をさせていただきました。それまで 2 日間の他の受講生の発表を聞かせていただいていたところ、あまりのレベルの高さに一度は実家に帰って布団にでも潜りたいと思いましたが、なんとか無事に発表をさせていただきました。しかし、予想に反して多くの方からご質問を頂けたことと、先生方からの鋭いご指摘がいただけたこと、そして、やはりこのような場で発表させていただけたこと自体が私にとって多くの良いものを得る機会となったことは言うまでもありません。その日の帰りは風呂敷一杯の収穫を持って帰る気分でした。

さらに、このセミナーに参加したことで、近い分野で研究を志す多くの院生仲間と知り合うことができたのも素晴らしい収穫でした。お互いに、意見の交換をして本当にいい刺激をいただけたこと、また、このように近い分野を学ばれている方からの励ましは本当に力になりました。この出会いも、ひとえに、このセミナーあってこそのものでした。

思い返せば、友人からの旅行の誘いも断って 4 日間に亘るセミナーに参加させていただいた連休でしたが、やはりこの選択が本当に良かったと私は思います。最後になりましたが、このような機会をつくって頂いた先生方、事務の千葉様、並びに関係者のみなさまには心から御礼を申し上げます。